

神奈川ウォーキング 参加 H25-01

オフィス地図豆 街歩きレジュメ その31

麻布十番と広尾を歩く

日時 : 平成25年7月10日(水) 集合: 東京メトロ麻布十番駅 11:00

コース: 麻布十番駅→善福寺・アメリカ公使館跡→柳の井戸→きみちゃんの像→豆菓子の「豆源」&たい焼の「浪花屋」→暗闇坂・大黒坂・狸坂・一本松阪→仙台坂上五叉路→有栖川宮記念公園→広尾商店街→祥雲寺→東京メトロ広尾駅 <伊藤自宅含め 11,000歩>

参加者: 山岡(案内: オフィス豆地図店主) 吉越L・神谷・五十嵐志・平石幸・青松秀・内田絵・関根・沢崎・渡辺リ・瀬戸・片岡・佐藤秀・落合・中嶋・宮野・伊藤真 合計17人

散策マップ



今日のテーマ

【先に歩いた「渋谷川」沿いにある、麻布十番と広尾の街は、西や北に高台(32m)を見る河川周辺低地(5m)に有る街。似た者同志の街で、何が同じで、何がことなるか?】

・・・興味をもって、注目して街を歩いて、楽しみましょう!・・・

①地下鉄麻布十番駅：東西線と大江戸線が有ります。小生は溝口から半蔵門線「九段下」で都営大江戸線に乗り換え、「麻布十番」に降りましたが、改札口はB 6 F、後から造る地下鉄は深く潜ります。改札口には誰もいません。東西線改札口、ここにも誰もいません。事前に地図を見て「善福寺」なら①出口が一番近いと思い、そちらに向かいました。階段を登りながら吉越さんに携帯。③出口まで一旦戻った方が良いとの返事。でもすぐ①出口に出ました。そしたら出口に平石さん、「ア～ラ伊藤さん、良かった。吉越さんに携帯しようと思ったら携帯電池がなくて困っていたの、助かった・・・」それから③出口を、「善福寺」に近い①側の先入感で探す。地元の人に聴いて道路の向かい側でした。東京の地下鉄は地上に出口が沢山有ります。集合場所指定は「〇〇改札」出口か地上「〇番出口」を指定しておく必要があります。＜今後の参考のために、悪しからず・・・＞

山岡先生の出発前の説明です。アイパッドで江戸時代と比較した地形地図で「今日のテーマに入ります」



地下鉄出口の地図併用して

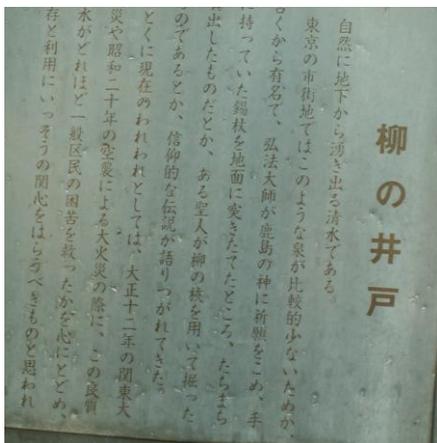
②【きみちゃんの像】：「野口雨情」の詩で知られる「赤い靴の女の子」モデルの【岩崎きみちゃん】は、アメリカに渡ることなく結核により麻布で短い生涯を終えました。



その前に「豆源本舗」を紹介しておきます。すぐ隣には「たい焼きの浪花屋」も有ります。後でどうぞお召し上がりください。

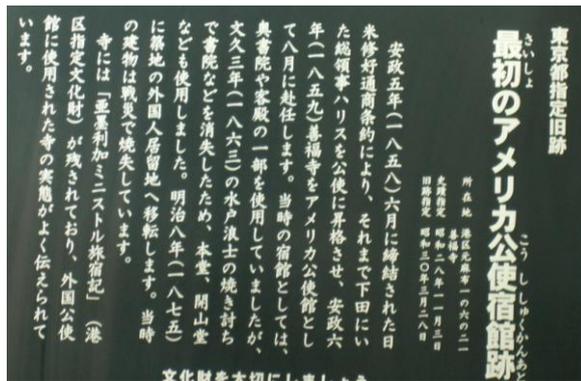
②善福寺：麻布山 浄土宗本願寺派 824年弘法大師・空海によって開山。当初は真言宗。その後鎌倉時代になり、越後国に配流の親鸞が当寺を訪ね、浄土宗に改宗。東京では浅草寺に次ぐ古刹で麻布十番は善福寺の門前町として江戸時代より栄えました。

②-1：柳の井戸・・・こんこんと湧いていました





②-2: 1859年アメリカ公使「タウンゼント・ハリス」らが在留していた。②-3: 逆さイチョウ⇒3景



↑親鸞自ら植えたと言われています

【逆さイチョウ】写真は撮る角度と、陰陽により変わります。後の2枚は少し高い墓場から撮りました。



福沢諭吉墓・越路吹雪碑が有ります。

②-4 【元麻布ヒルズ】元善福寺の境内で1983年森ビルが譲り受け、開発した高級レジデンスマンション。



フォレストタワー(写真) 29階建地下3階、フォレストテラスイースト6階建て地下1階、フォレストテラスウエスト5階建地下1階の3棟で構成。デザイン監修は建築家内井昭蔵設計事務所、デザイナー集団テレス・コンラン卿主催のpartners。2002年竣工。総住戸数222戸。

それにしてもお寺との組み合わせは?~【古刹寺の同じ境内に、1,100数年後に名物超近代的なマンション建築】~「これも又よしとするか?」~11:45早めの食事を流石老舗蕎麦屋は高い、「中華屋」で。先生の探されていた「さかな」のお店、後で判りました。残念でした。



③たい焼：「浪花屋」で出来たてを買いました。山岡先生曰く、「しっぽがうまい」おすそ分け戴きました。



～おいしかったよ～

④賢宗寺：1635年初代鍋島藩主鍋島勝茂が若くして疱瘡で亡くなった息子忠直の菩提を弔う為に創建。



ここに有る墓石は全て五輪塔です。
 下から「地・水・火・風・空」となっており、宇宙の構成要素の五大を象徴しております。「興国山賢宗寺」は忠直の戒名「興国院殿敬英賢崇大居士」から名付けられた。



⑤江戸の坂：23区に700以上も有るようです。元麻布だけで10坂。大黒天の前は勿論「大黒坂」



↑流石に暗闇です



坂上の交差点5叉路になっており「暗闇坂・大黒坂・狸坂・一本松坂・仙台坂」坂が集中している。

⑥日本基督教団安藤記念協会：初代ハワイ総理事・安藤太郎創立。珍しい石造りの協会 ⑦坂上「風の吹く所」



麻布野球場の角にありました→



⑧有栖川宮記念公園

この地は、江戸時代、盛岡南部藩の下屋敷として使われていました。そして1896年（明治29年）、有栖川宮威仁（ありすがわのみやたけひと）親王の裁仁（たねひと）王新邸造成の御用地となります。有栖川宮が廃絶して後は、大正天皇は第三皇子光宮宣仁（てるのみやのぶひと）親王に、有栖川宮の旧称高松宮の称号を賜り、その御祭祀をお継ぎになります。その後、児童福祉を目的とする遊び場に深い関心を寄せられていた高松宮殿下は、故有栖川宮威仁親王の20年のご命日にあたる1934年（昭和9年）にこの地を東京市に賜与され、記念公園として一般開放されました。北東部を編入し、1975年（昭和50年）には港区に移管されて、区立公園となり多くの人に親しまれています。管理事務所近くには、この公園とも縁の深い、有栖川宮熾仁（たるひと）親王の銅像が建っています。



公園のシンボルとも言える「有栖川宮熾仁親王騎馬像」

三角点見付けました



山岡先生の説明の後、「せせらぎコース」と「高台銅像のある犬広場コース」に分かれて散策
高台の方には都立中央図書館も有ります。



カモと亀
←ザリガニを釣る子供たち



庭園池を眺めながら休憩



↓この塔は、地図で見ると「**末日聖徒イエス・キリスト教会東京神殿**」の様です。↓集合写真外れたカメラマン伊藤は美熟女連に囲まれ撮影サービスされました。



⑨**祥雲寺**：葬儀の準備中で写真は撮れませんでした。引用させて戴きました。



祥雲寺山門



祥雲寺本堂



祥雲寺鐘楼

臨済宗大徳寺派寺院の祥雲寺は、瑞泉山と号します。祥雲寺は、福岡藩主黒田長政（元和9年没）を追善して、嫡子忠之（承応3年没、法名興雲院殿）が開基となり、長政が帰依していた京都紫野大徳寺の龍岳和尚を開山として赤坂溜池の自邸内に龍谷山興雲寺と称して創建、寛文6年（1666）に麻布台へ移転の上瑞泉山祥雲寺と改称、寛文8年（1668）の江戸大火により当地へ移転したといひます。江戸期には塔頭6カ寺を擁していた他、**臨済宗大徳寺派触頭**として御府内にある臨済宗大徳寺派寺院をまとめていたといひ、福岡藩黒田家の他、秋月藩主黒田家・久留米藩主有馬家・吹上藩主有馬家・柳本藩主織田家・岡部藩主安倍池・小野藩主一柳家・狭山藩主北条家・園部藩主小出家など諸大名の江戸菩提寺となっていました。



■ 曲直瀬流一門医師の墓

墓地のほぼ中央に日本の医術を最高の水準まで導き、世界で最初といわれるカルテを残した曲直瀬玄朔と一門の墓が並んでいます。(渋谷区教育委員会掲示より)

■ 文化人の墓

墓地の中ほどの左手に、室生流家元代々の墓があり、その向かい側に、まんじゅう型笠付きの常盤津節の開祖常盤津文字太夫の墓があります。(渋谷区教育委員会掲示より)

■ 鼠塚

墓地入口の右手に見える大きな石碑は、明治三十二年(1899)から数年間ペストが流行したとき、予防のために殺された鼠の霊を供養して明治三十五年に建てられた珍しい動物慰霊碑です。(渋谷区教育委員会掲示より)

■ 岡本玄治墓

岡本玄治は、江戸時代初期の医家。初名は宗什、のち諸品と改める。玄治は通称。天正十五年(1587)京都に生まれた。十六歳の時曲直瀬玄朔の門に入って医学を学び、玄朔門下第一の高弟と称された。慶長年間(1596-1615)伏見城で徳川家康に拝謁し、元和四年(1618)法眼に叙せられ、同九年將軍秀忠に召されてその侍医となり、たびたびその病用に侍して効を収めた。寛永五年(1628)法印に叙せられ、啓通院の称号を賜った。同十年・十四年には將軍家光の病を直し、千石の領地を得るにいたる。常に京都と江戸を往復し、元和九年(1623)日本橋人形町に邸に屋敷を拝領した。幕末の嘉永六年(1853)に大当たりをとった歌舞伎狂言「与話情浮名横櫛」の舞台「源氏店」で有名になった玄治店の起こりをなした。正保二年(1645)四月二十日五十九歳で死去。著書に「燈火集」「玄治配劑口解」「玄治方考」「通俗医海腰舟」「傷寒衆方企矩」などがある。(東京都教育委員会掲示より)



2013.07.10



2013.07.10



山岡先生のつぶやき

機関誌メモ：麻布十番散策後、混み合わない早めの自由昼食、帰りは広尾の洒落たテラスで御茶。

昨日は、猛暑の中をいつものAの街歩きメンバーと「麻布十番・広尾へ」でかけた。

ほんとうのところ前日には、中止の連絡が入るのを期待していたのだが、残念ながらメールも電話もなかった。

「こんなに、頭が重いのに！」とぶすとして出かけたのだが、電車の中は冷房が快適で、

これだけでも家に閉じこもっているよりはいい。

しかも、猛暑を押し退けた参加者は17人とか、

気合を入れて決められたコースを淡々と歩く、

そして(いつものように、つまりながら)話す。

コースの中には適所に緑陰もあって、一人の落伍者もなし。

参加者の声もはずんで、引率者は満足。

そして、昼食は麻布十番、

歩きのあとは広尾のカフェでお茶となる予定だったが、

後者は、行かずじまい。というのも、

メンバーは妻の泡立つお茶を好むものが多数を占めるため、

どうしても目的地に向かう気にならなかった、

そうした雰囲気ではなかった。

流れるように、いつものように麦茶のある店に入る。

お茶をする予定にしていた、カフェ・デ・プレは、一人さびしきのぞくだけにして、打ち合わせ予定があった大手町へ向かうAの皆さん、時には泡の無いお茶もいただきます。

<http://www.hiramatsu.co.jp/cafe/despres/>



このあたりでは、こどもよく知られている。JOUVAUD Le Pâtissier Provençal HIROO ジュヴォールパティシエプロヴァンサル広尾店 <http://www.imuraya.co.jp/brand/jouvaud/index.html#tenposupikai>

地下鉄広尾駅③出口道路側と陸橋を越えた反対側に有ります。ドリンクメニューに泡の出る麦茶も有ります。スイーツをつまみながら時には良いと思いますが……。この周辺に来る機会が多く愛妻を連れて覗いてみたいと思います……。如何ですか……

編集後記

今日は低地平坦地(麻布十番5mh)と高地高台(六本木や広尾30~32mh)の街の発展経過を学習しました。麻布十番では「豆菓子の豆源」「たい焼の浪花屋」庶民的なお店で親しみやすい街。高台広尾は高級住宅地です。大使館も多く、高台のレストランはテラス付きで、外人は好みます。

お陰様でテーマを持って散策すると、地形で江戸以降街の発展経過を良く理解出来ました。山岡先生には「春の小川」「銀座・新橋・田町 裏道」に続き、都市の「穴場」散策を楽しませて戴き有難うございました。

前日9日(火)は木場「深川江戸資料館」で江戸時代後半の木場風景や江戸庶民生活を偲ぼせる職人手作り【江戸木場町再現建物】と靈巖寺に参拝して夫婦食事会。猛暑の中、2日間連続で江戸の街学習でした。

7月に入り、特に今週は全国的に異常気象、高気圧二重構造の為か「湿度70%以上・35℃以上・雷の猛暑」でしたが、山岡先生の御配慮のゆったり散策で14:20、全員無事終了しました。

有志でアフターウォーク。健康診断の為15:00で閉店とのことであったが、我々のお陰で他のお客さんも入り30分延長されましたが、猛暑のことも有り帰宅。広尾から日比谷線・東横線自由が丘で大井町線乗り換えで終点溝口駅、30分と東京方面のウォーキングは近くて助かります。翌日11日(木)ゴルフ、12日(金)料理&飲み会と猛暑の中、KWCウォーキング前後はどうして行事が続くのでしょうか?

12日(土)やっと自宅で、いつもの拙いボケ防止用の日記帳を纏めました。山岡先生の「街歩き案内レジュメー31」他から引用させて戴きました。誤記や失礼な記述が有るかもしれませんが悪しからずお許しの程。

番外編：平成25年7月9日(火)



木場公園～大橋の中にスカイツリー～



【深川江戸資料館】職人の手作り江戸深川(1842年頃)再現

